

# 令和4年度 予算施策評価表

様式1

施策名	感染症対策の推進				予算施策コード	hf03	
担当部局名	保健福祉部	健康衛生局	健康増進課	評価責任者	課長 丹 純一	連絡先	2400

## 1 施策の内容

施策の目標	感染症に対する迅速かつ適切な対応により、発生の予防、まん延並びに拡大を防止するとともに、感染症患者・感染者の人権に配慮した適切な医療の提供を確保する。
-------	---

これまでの取り組み	<p>感染症発生動向調査、発生時の調査や検査、集団発生時の防疫対策、医療機関の整備及び医療費負担。                  エイズ、ウイルス性肝炎及び性感染症の検査体制の整備、普及啓発、医療体制の整備及び人材育成。                  結核対策として、患者管理、家族指導、病状調査、健康診断、審査協議会の開催、医療費負担。                  予防接種の普及啓発、接種後健康調査、予防接種広域化の体制整備。                  有事に備えたマニュアルや指針・行動計画の作成・整備、関係者の研修・訓練。                  新型インフルエンザ対策として、人工呼吸器等の機器整備、抗インフルエンザウイルス薬の備蓄等。                  B型・C型ウイルス性肝炎対策として、インターフェロン治療及び核酸アナログ製剤治療に係る医療費助成等。                  エボラ出血熱等の感染力、重篤性及び危険性が高い一類感染症に対応する第一種感染症指定医療機関の整備等。                  新型コロナウイルス感染症対策として、患者の医療機関等への移送、疫学調査及び検査体制を強化。</p>
-----------	--

## 成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	一～四類全数把握感染症(結核を除く)患者届出件数				B	結核り患率					
選択理由	感染症のまん延防止策を推進することにより、患者数を減らすことができる。				選択理由	結核のまん延防止対策を推進することにより、結核り患率を減少することができる。					
算定方法	実件数(過去5年間の平均実績を下回ることを目標とする。)				算定方法	人口10万人当たりの新規結核登録者数					
成果と指標の関係	弱	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(プラス/マイナス)	-	成果と指標の関係	中	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(プラス/マイナス)	-

指標・事業費・人件費の推移												
区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費(決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	件		%	対10万人比		%	千円					
2年度	55	45	122.2%	10	9	111.1%	10,537,201	10,233,023	11,766	292,412	9,663,393	159,346
3年度	55	51	107.8%	10	6	166.7%	14,428,035	13,794,160	11,622	622,253	9,710,917	184,828
4年度	55	49	112.2%	10	9	111.1%	17,104,995	15,866,492	11,622	1,226,881	10,797,683	140,327

## 2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等において、県の事務として位置付けられた施策であり、感染症のまん延や生物兵器によるテロなどから県民の生命身体の安全を確保するため、平常時から感染症発生動向調査等により全県下の動向を把握し、的確な対応がとれるようにしておく必要がある。 また、新型インフルエンザや新型コロナウイルス感染症をはじめとする新興・再興感染症の発生等の有事の際には、専門技術集団である保健所による活動が不可欠であり、日頃から医療機関や市町等と連携体制を構築し、県民の生命身体の安全を確保する必要がある。			
高い						
成果指標A	説明	近年、県内で一類・二類感染症(結核を除く)は発生しておらず、三～四類及び五類全数把握感染症は概ね横ばいで推移している。一方、新型コロナウイルス感染症が二類感染症相当の指定感染症に指定され、令和2年3月以降、県内においても感染者が確認されている。 県内のHIV感染者・エイズ患者は、20歳以上の男性における同性間性的接触での感染が多く、50歳以上で発見される場合には、既にエイズを発症している割合が高い。一方、梅毒は若年層の女性の患者数が増加傾向にある。他の性感染症やマダニによる感染症(SFTS、日本紅斑熱)等を含め、感染予防と早期発見を目的とした啓発活動や人材育成等を継続することで、感染症の予防及びまん延防止を図ることができる。				
成果動向		横這い				
成果向上余地	成果向上が可能					
成果指標B	説明	結核り患率は長期的にみるとゆるやかな低下傾向にあるが、結核登録者の約8割を60歳以上が占めており、これらの高齢者対策に加え、職場や学校での集団感染の防止に努める必要がある。 感染症法において、結核対策事務のほとんどは県の事務とされているため、その推進を図るのは県の責務であると考えられる。				
成果動向		横這い				
成果向上余地	成果向上が可能					
参考：構成事務事業の評価の平均値	成果動向	2.07	順調・向上	成果向上余地	1.00	成果向上は余り望めない

4-1 事務事業管理シート（評価対象事業）

										予算施策名					hf03	感染症対策の推進							
1	結核医療費			指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	評価	成果動向	3成果横ばい	向上余地	4その他				
	指標種類1	指標名称1		単位	計画	5	5	5	/	予算	事業費計	19,762	19,773	20,495		19,966	感染症法第37条及び第37条の2に基づき、結核入院及び結核患者の医療費を都道府県が負担するものであり、必要かつ適正な医療の実施によって、結核の予防及びまん延防止を図っている。結核罹患率は長期的にみると低下傾向にあり、事業の成果が認められる。	方向1	このまま継続				
	成果	-	70-	肺結核患者のうち再治療を受けている者の割合	%	実績	2.4	2.6			2.7	国費	14,226	14,292		14,748			14,484	方向2		方向3	
						達成率	208.33%	192.31%			185.19%	その他											
						指標種類2	指標名称2				単位	計画	10	10		10			決算				
	成果	-	70-	結核罹患率	%	実績	9.1	5.8			9.4	国費	12,502	12,942		8,937				方向3			
						達成率	109.89%	172.41%			106.38%	その他											
						指標種類3	指標名称3			単位	計画					県費			4,675				676
	実施期間	始期	終期	事業の概要							人役	0.2	0.2	0.2		見直し方向性							
		S 26	予定・見込があれば記入	結核に対する適正な医療を図ることによって、結核が個人的にも社会的にも害を及ぼすことを防止し、もって公共の福祉を増進させる。							人件費	1,354	1,210	1,195									
2	予防接種健康被害者救済給付費			指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	評価	成果動向	3成果横ばい	向上余地	4その他				
	指標種類1	指標名称1		単位	計画	4	4	6	/	予算	事業費計	14,887	15,135	15,704		15,548	全ての予防接種健康被害者に給付が実施されており、制度上、これ以上の成果向上余地はない。令和元年度 受給者数 4名(健康被害の原因となった予防接種: 種痘、日本脳炎、麻しん)	方向1	このまま継続				
	成果	-	70-	救済給付対象者	人	実績	4	4			5	国費	9,924	10,090		10,469			10,365	方向2		方向3	
						達成率	100.00%	100.00%			120.00%	その他											
						指標種類2	指標名称2				単位	計画	5	5		5			決算				
	活動	-	70-	健康被害調査委員会の活動回数	回	実績	0	1			0	国費	9,437	9,448		9,856				方向3			
						達成率	-	500.00%			-	その他											
						指標種類3	指標名称3			単位	計画					県費			4,718				4,709
	実施期間	始期	終期	事業の概要							人役	0.1	0.1	0.1		見直し方向性							
		S 23	予定・見込があれば記入	予防接種法に基づく予防接種による健康被害者に対して、生活の安定を図るために障害年金等の支給を行う市町に対してその一部を補助する。							人件費	677	605	598									
3	肝炎治療特別促進事業費			指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	評価	成果動向	3成果横ばい	向上余地	4その他				
	指標種類1	指標名称1		単位	計画	250	250	250	/	予算	事業費計	299,700	276,944	172,404		248,768	患者の医療費の負担額を軽減するという制度上、成果の向上が図られる事業ではないが、100%完治するというC型肝炎治療薬が助成の対象となり、申請者数が増えたが、今後は減少する見込み。	方向1	このまま継続				
	成果	+	70-	肝炎ウイルス陽性者の初回・定期精密検査費用助成件数	件	実績	240	211			185	国費	150,835	139,373		67,940			125,285	方向2		方向3	
						達成率	96.00%	84.40%			74.00%	その他											
						指標種類2	指標名称2				単位	計画	1910	1910		1910			決算				
	成果	-	70-	助成対象者数	人	実績	1515	1688			1727	国費	52,497	85,895		84,899				方向3			
						達成率	126.07%	113.15%			110.60%	その他											
						指標種類3	指標名称3			単位	計画					県費			52,498				61,939
	実施期間	始期	終期	事業の概要							人役	2.7	2.7	2.7		見直し方向性							
		H 20	予定・見込があれば記入	ウイルス性慢性肝疾患に対し、初回精密検査・定期検査の費用の一部を助成し早期治療へ結びつける。また、有効な抗ウイルス剤による治療にかかる医療費を公費負担することにより、より重篤な疾患への進行の防止等を図るとともに、肝炎のまん延防止に寄与する。							人件費	18,269	16,335	16,122									



7 感染症指定医療機関運営費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	4その他
指標種類1	指標名称1			単位	計画	0	0	0		事業費計	10,627	55,824	55,824	61,592	評価	感染症指定医療機関の運営に必要な経費の一部を補助している。(H28年度に、愛媛大学医学部附属病院を第一種感染症指定医療機関として指定し、稼働を開始している。)令和4年3月1日付で、新たにHITO病院を第二種感染症指定医療機関(4床)として指定し、宇摩圏域の医療提供体制の拡充が図れた。		
成果	0	70-	感染症指定医療機関に収容できなかった患者数	人	実績	0	0	0	国費		4,986	27,912	27,912	30,796				
					達成率	-	-	-			その他							
指標種類2	指標名称2			単位	計画	28	28	32		事業費計	12,755	12,588	12,588	見直し 方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3			
活動	+	70-	感染症指定病床数	床	実績	28	32	32	国費		6,294	6,294	6,294					
					達成率	100.00%	114.29%	100.00%			その他							
指標種類3	指標名称3			単位	計画					県費	6,461	6,294	6,294					
					実績				人役		0.2	0.2	0.2					
					達成率	-	-	-	人件費	1,354	1,210	1,195	第二種感染症指定医療機関への経費補助を検討するとともに、必要におうじて見直す必要がある。					
実施 期間	始期	終期	事業の概要															
	H11	予定・見込があれば記入	感染症指定医療機関の運営に必要な経費の一部を補助することにより、感染症指定医療機関の確保及び感染症患者に対する良質かつ適切な医療の提供を図る。															

8 肝疾患診療地域連携体制強化事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	4その他
指標種類1	指標名称1			単位	計画	300	300	300		事業費計	8,306	8,306	8,306	8,306	評価	肝炎対策基本法により、肝炎対策の推進が県の責務として位置づけられている。医療提供体制の確保及び患者等に対する支援対策を行い、肝炎患者の生活の安定に資する事業であり、数値で成果を評価するのは困難である。		
成果	+	70-	相談件数	件	実績	153	162	164	国費		4,153	4,153	4,153	4,153				
					達成率	51.00%	54.00%	54.67%			その他							
指標種類2	指標名称2			単位	計画	150	150	150		事業費計	8,306	8,240	8,343	見直し 方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3			
活動	+	70-	肝炎医療コーディネーター養成者数	人	実績	108	84	173	国費		4,153	4,153	4,153					
					達成率	72.00%	56.00%	115.33%			その他							
指標種類3	指標名称3			単位	計画					県費	4,153	4,087	4,190					
					実績				人役		2	2	2					
					達成率	-	-	-	人件費	13,532	12,100	11,942						
実施 期間	始期	終期	事業の概要															
	H28	予定・見込があれば記入	県が指定した肝疾患診療連携拠点病院を中心に、B型・C型肝炎ウイルスの感染者及び肝炎患者等に対する医療提供体制の確保及び患者等への情報提供を行い、地域における肝炎診療の充実及び向上を図る。															

9 肝炎ウイルス検査推進事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	2成果低迷している	向上 余地	4その他
指標種類1	指標名称1			単位	計画	1500	1500	1500		事業費計	5,923	5,923	2,835	2,835	評価	新型コロナウイルス感染症の流行により、出張検査及び相談を実施していたイベントが中止となった。アフターコロナを見据えた肝炎ウイルス検査の正しい知識の普及啓発に努める必要がある。		
成果	+	70-	出張肝炎ウイルス検査受検者数	人	実績	44	0	0	国費		3,598	3,598	1,417	1,417				
					達成率	2.93%	0.00%	0.00%			その他							
指標種類2	指標名称2			単位	計画	50	50	50		事業費計	1,016	3,174	648	見直し 方向性	方向1 見直し(拡大・縮小・執行方法の改善等) 方向2 目的妥当性改善 方向3 成果向上			
成果	+	70-	出張検査会場における相談件数	件	実績	2	0	0	国費		538	3,598	1,417					
					達成率	4.00%	0.00%	0.00%			その他							
指標種類3	指標名称3			単位	計画					県費	478	-424	-769					
					実績				人役		1.6	1.6	1.6					
					達成率	-	-	-	人件費	10,826	9,680	9,554	SNSを用いた肝炎ウイルス検査の正しい知識の普及啓発や、肝炎医療コーディネーターの資質向上による効率的な事業実施を行う。					
実施 期間	始期	終期	事業の概要															
	H29	予定・見込があれば記入	本県の肝がん死亡率は全国的に高い水準にあり、肝がんは、肝炎ウイルスの原因によるものが8割であることから、検査の機会の増加を図り、感染予防、早期発見早期治療の推進を図る。															



13 病原性大腸菌O157検査費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	4その他							
指標種類1	指標名称1			単位	計画	0	0	0	/	予算	事業費計	4,184	4,198	4,189	4,229	評価	感染者を早期に発見することにより、病原性大腸菌による集団発生の予防とまん延を防止することができる。 腸管出血性大腸菌感染症は集団発生を起こしうる感染症として注意を要することから、この感染症の予防とまん延を防止することの意義は大きい。								
成果	0	70-	腸管出血性大腸菌感染症の集団発生件数	件	実績	0	0	0			国費									見直し 方向性	方向1	このまま継続			
					達成率	-	-	-			その他	9,360	9,216	9,216	9,216						方向2				
					計画	6400	6400	6400			県費	-5,176	-5,018	-5,027	-4,987						方向3				
指標種類2	指標名称2			単位	計画	6400	6400	6400			決算	事業費計	3,465	3,186	2,934						見直し 方向性				
活動	+	70-	検査件数	件	実績	3587	3470	3283				国費													
					達成率	56.05%	54.22%	51.30%		その他			3,584	5,302	方向2										
					計画					県費		3,465	-398	-2,368	方向3										
指標種類3	指標名称3			単位	計画					人役															
実施 期間	H8	始期	終期	事業の概要	実績							人件費	2.1	2.1	2.1				予 算						
					達成率	-	-	-			事業費計	1,032	985	985	883										
					計画	800	800	800			国費	725	678	678	571										
指標種類1	指標名称1			単位	計画	800	800	800	決算		事業費計	874	890	822	見直し 方向性							予 算			
成果	-	70-	定期予防接種対象疾病に係る感染症法に基づく患者報告数	人	実績	208	162	136			国費	621	639	570											評価
					達成率	384.62%	493.83%	588.24%		その他						方向1	このまま継続								
					計画	20	20	20		県費	307	307	307	312		方向2									
指標種類2	指標名称2			単位	計画	20	20	20		人役						予 算									
活動	+	70-	予防接種センターでの相談受付件数	件	実績	0	0	0			国費	253	251	252					見直し 方向性						
					達成率	0.00%	0.00%	0.00%	その他						方向1								このまま継続		
					計画				県費		253	251	252	方向2											
指標種類3	指標名称3			単位	計画				人件費																
実施 期間	H13	始期	終期	事業の概要	実績						事業費計	677	605	598									予 算		
					達成率	-	-	-		国費	725	678	678	571											
					計画	800	800	800		その他								方向1	このまま継続						

14 予防接種センター事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	4その他									
指標種類1	指標名称1			単位	計画	800	800	800	/	予算	事業費計	1,032	985	985	883	評価	予防接種センター機能は、各都道府県が圏域内に1箇所程度整備するべきであるとされている。 予防接種要注意者は、様々な感染症についてハイリスク者である場合が多く、このような人に予防接種を受けてもらうことは極めて重要である。										
成果	-	70-	定期予防接種対象疾病に係る感染症法に基づく患者報告数	人	実績	208	162	136			国費	621	639	570	見直し 方向性					予 算							
					達成率	384.62%	493.83%	588.24%			その他													方向1	このまま継続		
					計画	20	20	20			県費	307	307	307									312	方向2			
指標種類2	指標名称2			単位	計画	20	20	20			決算	事業費計	874	890									822	見直し 方向性			
活動	+	70-	予防接種センターでの相談受付件数	件	実績	0	0	0				国費	253	251									252				
					達成率	0.00%	0.00%	0.00%		その他							方向1	このまま継続									
					計画					県費		253	251	252	方向2												
指標種類3	指標名称3			単位	計画					人役						予 算											
実施 期間	H13	始期	終期	事業の概要	実績							事業費計	677	605	598				予 算								
					達成率	-	-	-			国費	725	678	678	571												
					計画	800	800	800			その他											方向1	このまま継続				

15 感染症発生動向調査事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余地为小 さい												
指標種類1	指標名称1			単位	計画	150	150	150	/	予算	事業費計	15,144	15,197	17,181	18,506	評価	感染症の患者発生状況に関する情報及び病原体情報を収集・分析・還元し、流行予測等医療・研究に役立てることは、感染症の予防及びまん延防止のための基盤的な体制として重要である。 情報提供を幅広く行うことで、県全体の感染症予防意識の向上が図られる。													
成果	0	70-	集団かぜによる休校、学年閉鎖及び学級閉鎖措置事例数	事例	実績	0	0	56			国費	8,409	8,436	8,358	9,584					見直し 方向性	予 算									
					達成率	-	-	-			その他													方向1	このまま継続					
					計画	630	6300	6300			県費	6,735	6,761	8,823	8,922									方向2						
指標種類2	指標名称2			単位	計画	630	6300	6300			決算	事業費計	10,967	13,393	13,365									見直し 方向性						
成果	-	70-	全数把握感染症発生件数	件	実績	1718	4950	291801				国費	6,173	8,079	8,127													評価	予 算	
					達成率	36.67%	127.27%	2.16%		その他				3	見直し 方向性	予 算														
					計画					県費		4,794	5,314	5,235					方向1	このまま継続										
指標種類3	指標名称3			単位	計画					人役										予 算										
実施 期間	S38	始期	終期	事業の概要	実績							事業費計	30,447	27,225					26,870				予 算							
					達成率	-	-	-			国費	6,173	8,079	8,127																
					計画						その他								方向1							このまま継続				

4-2 事務事業管理シート（評価対象外事業）

予算施策名

hf03

感染症対策の推進

1 結核児療育給付費	コスト (単位：千円)					R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	コスト (単位：千円)			
	事業費計	国費	その他	県費	事業費計					国費	その他	県費	
評価対象外の理由	事業費計	1,504	1,504	1,504	0	事業費計	0	0	0	事業費計	0	0	0
執行額0	国費	654	654	654		国費	0	0		国費	0	0	
評価対象外その他の理由(記述)	その他	194	194	194		その他	0	0		その他	0	0	
	県費	656	656	656		県費	0	0		人役	0.05	0.05	
						人件費	339	303					

  

2 新型コロナウイルス感染症対応医療機関体制強化事業費	コスト (単位：千円)					R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	コスト (単位：千円)			
	事業費計	国費	その他	県費	事業費計					国費	その他	県費	
評価対象外の理由	事業費計	5,547,025	6,335,759	9,425,953	4,001,314	事業費計	4,410,752	5,599,299	6,034,748	事業費計	4,410,752	5,599,299	6,034,748
その他	国費	5,483,088	6,335,759	9,425,953	3,389,449	国費	4,387,815	5,538,601	5,781,002	国費	4,387,815	5,538,601	5,781,002
評価対象外その他の理由(記述)	その他				1,437	その他		18		その他		18	
	県費	63,937	0		610,428	県費	22,937	60,680	253,746	県費	22,937	60,680	253,746
新型コロナ対策の医療機関への補助経費のため評価が困難						人役				人役			
						人件費				人件費			

  

3 新型コロナウイルス感染症検査無料化支援事業費	コスト (単位：千円)					R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	コスト (単位：千円)			
	事業費計	国費	その他	県費	事業費計					国費	その他	県費	
評価対象外の理由	事業費計	0	2,862,315	1,680,106	0	事業費計	0	54,488	0	事業費計	0	54,488	0
9月補正より後に新たに予算計上	国費		2,862,315	1,680,106		国費		54,488		国費		54,488	
評価対象外その他の理由(記述)	その他					その他				その他			
	県費					県費				県費			
新型コロナウイルス感染症検査事業所への補助経費のため評価が困難						人役		7		人役		7	
						人件費		42,350		人件費		42,350	



4 新型コロナウイルスワクチン接種体制整備事業費	コスト (単位：千円)						コスト (単位：千円)				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R2年度		R3年度	R4年度			
評価対象外の理由	予算	事業費計	0	3,624,736	1,067,434	0	決算	事業費計	0	2,145,155	0
その他		国費		3,624,736	1,067,434			国費		2,145,155	
評価対象外その他の理由(記述)		その他						その他			
新型コロナワクチンの接種体制を整備する経費のため評価が困難		県費						県費			
								人役			
						人件費					

5 新型コロナウイルス検査体制強化事業費	コスト (単位：千円)						コスト (単位：千円)				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R2年度		R3年度	R4年度			
評価対象外の理由	予算	事業費計	0	749,016	1,561,123	377,066	決算	事業費計	0	926,492	719,294
その他		国費		374,507	798,667	186,124		国費		343,011	744,683
評価対象外その他の理由(記述)		その他						その他			
新型コロナ対策の検査機関への補助経費のため評価が困難		県費		374,509	762,456	190,942		県費		583,481	-25,389
								人役			
						人件費					

6 新型コロナウイルス感染症保健所体制強化事業費	コスト (単位：千円)						コスト (単位：千円)				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R2年度		R3年度	R4年度			
評価対象外の理由	予算	事業費計	0	161,325	2,542,105	1,215,178	決算	事業費計	0	155,958	2,039,222
その他		国費		161,325	2,441,390	997,350		国費		171,146	1,996,888
評価対象外その他の理由(記述)		その他						その他			118
自宅療養者の健康管理をかかりつけ医へ委託する等の経費のため評価が困難		県費			100,715	217,828		県費		-15,188	42,216
								人役			
						人件費					

7 新型コロナウイルス感染症陽性者登録センター設置事業費	コスト (単位：千円)						コスト (単位：千円)			
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R2年度		R3年度	R4年度		
評価対象外の理由	事業費計	0	0	276,338	0	事業費計	0	0	265,255	
その他	国費			138,168		国費			42,500	
評価対象外その他の理由(記述)	その他					その他				
新型コロナ陽性者の県への報告を委託する経費のため評価が困難	県費			138,170		県費			222,755	
						人役				
						人件費				